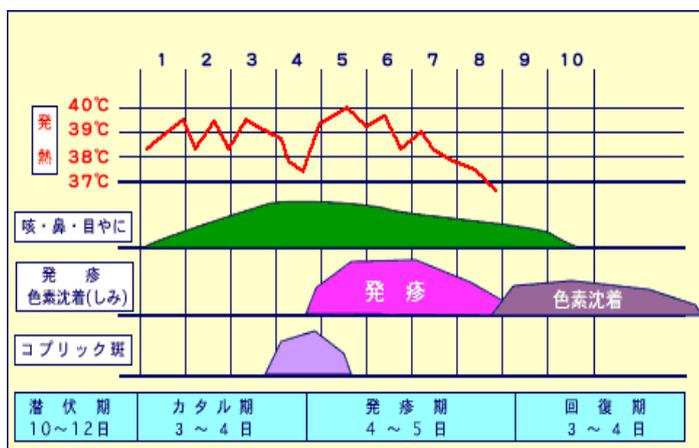


はしか(麻しん)を疑われた患者様へ

はしかは非常に他の人にうつりやすく、遠くにいる人にもうつることがあります。うつると、まれに肺炎、髄膜炎、脳炎などの重症となり、1000人に1人ぐらいは死亡すると言われている怖い病気です。あなたははしかを疑われましたので、以下のような対応のご協力をお願い致します。

1. 医師の指示に従って、必要な検査を受けて下さい。
2. はしかが否定されるまでは自宅待機、外出自粛をお願いします。
もしはしかであれば、発疹出現後5日目まで、あるいは、解熱してから3日間はおうつる可能性がありますので、それまでは外出を控えて下さい。
3. はしかであれば、発熱の1日前からうつる可能性があります。熱が出た2日前から接触した40歳以下の方に出来るだけ連絡し、以下の事をお伝え下さい。
(ア)予防接種をしていなくて、はしかにかかったこともない方、あるいはどちらもよくわからない方には、接触から3日以内(72時間以内)であれば緊急の予防接種ができること。
(イ)病気になると重症化の可能性のある方(0歳児や免疫抑制剤を使用している方等)には、すぐにかかりつけ医に相談すること。(接触者用説明書参考)
(ウ)接触者がはしかにかかって、症状が出るのは1~2週間後です。症状は、発熱に続いて発赤、眼脂などがあります。その時期に発熱があれば、はしかを疑って、病院へ電話で連絡してから、他の患者様へうつさないように受診して下さい。初期には、発疹が現れませんので、発熱・風邪様症状だけでも麻しん疑いとして受診して下さい。

はしかの典型的経過



コプリック斑：ほほの裏にできる発赤を伴う白っぽい斑点(これが見られる時期が一番うつりやすい!)

カタル期：発熱、くしゃみ、鼻水せき、眼脂、眼の充血などが見られる時期。この時期が終わるころに一度熱が下がり、また上がる。

疑問な点などがありましたら、那覇市保健所 感染症担当 (Tel. 853-7971) までご連絡下さい。